



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月28日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 橘 昇一
 (氏名) 松下 祐二
 TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,116	8.8	32,552	14.2	35,571	11.7	27,525	10.4
2019年3月期第3四半期	55,241	10.1	28,515	16.0	31,844	18.5	24,939	24.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 29,717百万円 (26.5%) 2019年3月期第3四半期 23,490百万円 (2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	309.44	
2019年3月期第3四半期	280.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	257,650	235,072	91.2	2,642.74
2019年3月期	244,909	218,476	89.2	2,456.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 235,072百万円 2019年3月期 218,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		57.50		77.50	135.00
2020年3月期		70.00			
2020年3月期(予想)				90.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 配当予想の修正については、本日(2020年1月28日)公表いたしました「2020年3月期の期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.9	41,000	8.1	45,100	7.6	32,300	0.2	363.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	99,600,000 株	2019年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	10,649,548 株	2019年3月期	10,649,488 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	88,950,484 株	2019年3月期3Q	88,950,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年4月23日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題をめぐる動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響など景気の先行き不透明な状況に留意が必要です。

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められています。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの短期導入、早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるとして年々引き合いが強まっているクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターでアプリケーションからインフラまで一貫したサービスを提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、顧客向け研修施設の拡張など付加価値向上につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高601億16百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益325億52百万円(同14.2%増)、経常利益は355億71百万円(同11.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は275億25百万円(同10.4%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、299億11百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は157億69百万円(同8.3%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、230億3百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益は154億66百万円(同21.1%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

業務用パッケージソフトの販売に加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、72億1百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は13億17百万円(同11.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で127億41百万円増加し2,576億50百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が78億12百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計残高は38億54百万円減少し225億77百万円となりました。これは主に、未払法人税等が35億23百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計残高は、165億96百万円増加し2,350億72百万円となりました。これは主に、利益剰余金が144億5百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は91.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,220億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ、21億13百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、209億47百万円であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が374億97百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が19億23百万円計上された一方で、持分法による投資利益が25億13百万円計上されたこと及び法人税等の支払が127億85百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、57億13百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出が84億6百万円計上されたこと及び償却債権の回収による収入が24億98百万円計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、131億20百万円であります。これは主に配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第3四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2019年4月23日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,972	122,085
受取手形及び売掛金	9,626	9,762
商品及び製品	142	119
仕掛品	210	176
原材料及び貯蔵品	40	21
その他	1,135	898
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	131,125	133,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,012	3,027
土地	27,849	27,849
建設仮勘定	15,788	23,601
その他(純額)	1,097	1,223
有形固定資産合計	47,747	55,701
無形固定資産		
その他	106	114
無形固定資産合計	106	114
投資その他の資産		
投資有価証券	61,663	65,506
その他	4,270	3,272
貸倒引当金	△4	△6
投資その他の資産合計	65,929	68,772
固定資産合計	113,784	124,588
資産合計	244,909	257,650

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,029	3,911
未払法人税等	7,188	3,665
賞与引当金	2,372	1,336
その他	5,390	6,097
流動負債合計	18,981	15,009
固定負債		
退職給付に係る負債	6,290	6,257
資産除去債務	187	207
その他	974	1,104
固定負債合計	7,451	7,568
負債合計	26,432	22,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	196,183	210,588
自己株式	△22,139	△22,140
株主資本合計	212,752	227,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,553	9,652
土地再評価差額金	△1,705	△1,705
退職給付に係る調整累計額	△124	△31
その他の包括利益累計額合計	5,723	7,915
純資産合計	218,476	235,072
負債純資産合計	244,909	257,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	55,241	60,116
売上原価	17,249	18,025
売上総利益	37,991	42,091
販売費及び一般管理費	9,476	9,538
営業利益	28,515	32,552
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	532	553
投資有価証券売却益	61	—
持分法による投資利益	2,747	2,513
受取賃貸料	2	2
その他	76	43
営業外収益合計	3,422	3,116
営業外費用		
賃貸費用	91	97
その他	1	0
営業外費用合計	93	97
経常利益	31,844	35,571
特別利益		
償却債権取立益	2,060	2,498
その他	0	1
特別利益合計	2,060	2,499
特別損失		
償却債権取立費用	—	500
投資有価証券評価損	—	73
その他	0	0
特別損失合計	0	574
税金等調整前四半期純利益	33,904	37,497
法人税、住民税及び事業税	8,605	9,469
法人税等調整額	359	502
法人税等合計	8,965	9,971
四半期純利益	24,939	27,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,939	27,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	24,939	27,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,894	1,417
退職給付に係る調整額	△25	49
持分法適用会社に対する持分相当額	470	725
その他の包括利益合計	△1,449	2,192
四半期包括利益	23,490	29,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,490	29,717
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,904	37,497
減価償却費	427	484
持分法による投資損益(△は益)	△2,747	△2,513
投資有価証券売却損益(△は益)	△61	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	73
償却債権取立益	△2,060	△2,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,036	△1,036
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	174	38
受取利息及び受取配当金	△535	△556
売上債権の増減額(△は増加)	△447	△136
たな卸資産の増減額(△は増加)	145	76
仕入債務の増減額(△は減少)	90	△118
その他	616	596
小計	28,381	31,809
利息及び配当金の受取額	1,628	1,923
法人税等の支払額	△10,644	△12,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,366	20,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,939	△8,406
無形固定資産の取得による支出	△19	△33
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	20	200
償却債権の回収による収入	2,060	2,498
その他	240	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,639	△5,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,118	△13,120
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,119	△13,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,607	2,113
現金及び現金同等物の期首残高	109,458	119,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	114,065	122,085

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	26,257	47.1	29,806	47.0	3,548
システムサポート事業	22,865	41.1	26,381	41.7	3,516
オフィスオートメーション事業	6,592	11.8	7,172	11.3	579
合 計	55,716	100.0	63,360	100.0	7,644

②売上実績

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	28,619	51.8	29,911	49.7	1,292
システムサポート事業	19,906	36.0	23,003	38.3	3,097
オフィスオートメーション事業	6,716	12.2	7,201	12.0	485
合 計	55,241	100.0	60,116	100.0	4,875

以上